



各 位

2024年6月27日

会社名  日本タングステイン株式会社
代表者名 取締役社長 後藤 信志
(コード番号 6998 東証スタンダード市場、福証)
問合せ先 取締役執行役員 原口 寿
経営管理本部長
(TEL 092-415-5500)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、株式会社東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

各取締役にアンケートを実施し、各評価項目について5段階評価を行うとともに自由記述欄を設け、意見聴取を行いました。また、取締役会事務局にてこれを集計し、取締役会において評価結果を報告の上、審議を行いました。

<評価項目>

- ① 適時適切な意思決定の前提となる重要情報の集約等
- ② 多面的な視点かつポイントを突いた深い議論の実施
- ③ 重要事項についての適時適切な意思決定
- ④ 意思決定事項等に係る業務執行のモニタリング
- ⑤ その他（取締役会を支える体制・社外取締役の活用等）

2. 前年度(2022年度)実効性評価において認識した課題と取り組みに対する評価

(認識した課題)

- ・ サステナビリティを踏まえた経営分析、資本コスト、資本収益性を意識した経営の実践（人的資本投資、事業ポートフォリオ見直し等）に関する議論において、さらに改善の余地がある。

(取り組みに対する評価)

- ・ パーパス、サステイナブルビジョン及び成功の柱（マテリアリティ）を踏まえた施策に関して、サステナビリティ経営委員会からの報告に基づき、取締役会において議論しました。
- ・ 当社の資本コストや資本収益性について現状分析・評価を行い、株主還元策の充実や株式流動性の向上に関して議論しました。
- ・ 中期経営計画の重要な要素である事業ポートフォリオ戦略や人的資本投資についての議論を深め、その上で必要な意思決定を行っていく必要があるとの意見が出されました。

3. 2023年度の評価結果の概要及び今後の取り組み

当社取締役会は、上記審議の結果、取締役会の実効性について概ね適切に確保されていると判断いたしました。一方、事業ポートフォリオ戦略や人的資本投資をはじめとした中長期的な戦略テーマに関する議論において、さらに改善の余地があることを確認いたしました。

当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえ、成長戦略に対する課題や重要な論点に、より議論のウエイトを高めていく必要性を認識しており、今後も取締役会の一層の実効性向上のため、更なる改善、継続的な取り組みを行ってまいります。

以上